

杉浦地域医療研究センター

活動報告2020年度



京都大学大学院医学研究科
人間健康科学系専攻
杉浦地域医療研究センター運営委員会

施設概要

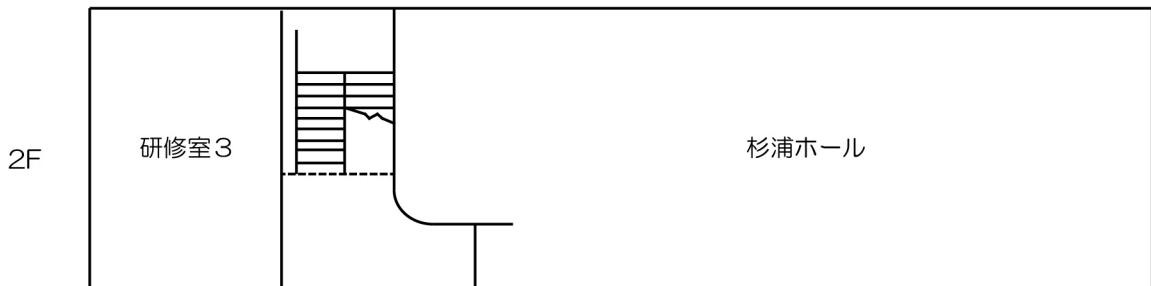
【名称】 杉浦地域医療研究センター

【開設日】 2009年6月23日

【場所】 京都大学大学院
医学研究科人間健康科学系専攻
〒606-8507 京都市左京区
聖護院川原町53

【建物概要】 階数・構造 2階建鉄骨造
延床面積 約500平方メートル

【設立経緯】 健康で文化的な地域社会作りを目指すという人間健康科学系専攻の理念と、薬剤師として地域医療の担い手となり、地域の人々に貢献したいという杉浦広一氏（スギホールディングス株式会社代表取締役会長）、杉浦昭子氏（同代表取締役副社長）両氏の理念が合致し、地域医療に資する教育・研究の推進・発展のため「杉浦地域医療研究センター」が建設され、両氏により寄贈された。



活動実績の概要

本年度（2020年度）、杉浦地域医療研究センター内の杉浦ホールにおいては153件（148日間）の地域医療に関わる講演会、研修会、教育活動などが行われた。昨年に引き続き、研修室1、研修室2は文部科学省 課題解決型高度医療人材養成プログラム「発達症への介入による国民的健康課題の解決」の研究室として使用された。屋外研修室1および研修室3については、学内web予約システムによって使用予約され、多数の会議や小グループ研修会等に利用された。

2020年度 杉浦ホール利用記録

月別	日付	会議名等	人数
4月	4/3	研究室カンファレンス	30
	4/6	情報理工ゼミ打合	
	4/7	定期清掃	
	4/8	講義のため（教務掛）	
	4/9	講義のため（教務掛）	
	4/10	講義のため（教務掛）	
	4/13	講義のため（教務掛）	
	4/14	講義のため（教務掛）	
	4/15	講義のため（教務掛）	
	4/16	講義のため（教務掛）	
	4/17	講義のため（教務掛）	
	4/20	講義のため（教務掛）	
	4/21	講義のため（教務掛）	
	4/22	講義のため（教務掛）	
	4/23	講義のため（教務掛）	
	4/24	講義のため（教務掛）	
	4/27	講義のため（教務掛）	
	4/28	講義のため（教務掛）	
	4/30	講義のため（教務掛）	

5月	5/1	講義のため(教務掛)	
	5/2	クリティカル研究会	
	5/7	講義のため(教務掛)	
	5/10	クリティカル研究会	
	5/11	講義のため(教務掛)	
	5/13	医療画像情報システム学分野ゼミ打合	20
	5/13	講義のため(教務掛)	
	5/14	講義のため(教務掛)	
	5/16	大学院説明会：検査	
	5/17	クリティカル研究会	
	5/18	講義のため(教務掛)	
	5/20	定期清掃	
	5/20	講義のため(教務掛)	
	5/23	シンポジウム開催	100
	5/25	講義のため(教務掛)	
	5/28	医療画像情報システム学分野ゼミ打合	20
	5/28	講義のため(教務掛)	
	5/30	クリティカル研究会	
6月	6/1	講義のため(教務掛)	
	6/8	講義のため(教務掛)	
	6/15	講義のため(教務掛)	
	6/19	講義のため(教務掛)	
	6/22	講義のため(教務掛)	
	6/28	京都府理学療法士会研修会・総会打合	
	6/29	講義のため(教務掛)	
7月	7/6	講義のため(教務掛)	
	7/13	講義のため(教務掛)	
	7/20	講義・試験のため(教務掛)	
8月	8/1	Whole Person Care	100
	8/3	講義・試験のため(教務掛)	
	8/5	オープンキャンパス(教務掛)	
	8/7	講義・試験のため(教務掛)	
	8/18	定期清掃	
	8/19	入試(教務掛)	

9月	9/4	研究打ち合わせ	15
	9/5	スピリチュアルセミナー	70
	9/8	研究打ち合わせ	15
	9/18	定期清掃	
10月	10/1	講義のため（教務掛）	
	10/2	講義のため（教務掛）	
	10/5	講義のため（教務掛）	
	10/6	講義のため（教務掛）	
	10/7	講義のため（教務掛）	
	10/8	講義のため（教務掛）	
	10/9	講義のため（教務掛）	
	10/12	講義のため（教務掛）	
	10/13	講義のため（教務掛）	
	10/14	講義のため（教務掛）	
	10/15	講義のため（教務掛）	
	10/16	講義のため（教務掛）	
	10/19	講義のため（教務掛）	
	10/20	講義のため（教務掛）	
	10/21	講義のため（教務掛）	
	10/22	講義のため（教務掛）	
	10/23	講義のため（教務掛）	
	10/26	講義のため（教務掛）	
	10/27	講義のため（教務掛）	
	10/28	講義のため（教務掛）	
10/29	講義のため（教務掛）		
10/30	講義のため（教務掛）		
10/31	文科プロジェクト		

11月	11/2	入試(教務掛)	
	11/5	教育推進室	
	11/6	講義のため(教務掛)	
	11/9	講義のため(教務掛)	
	11/10	講義のため(教務掛)	
	11/11	教育推進室	
	11/12	講義のため(教務掛)	
	11/13	入試(教務掛)	
	11/16	講義のため(教務掛)	
	11/17	講義のため(教務掛)	
	11/18	教育推進室	
	11/19	教育推進室利用	
	11/20	講義のため(教務掛)	
	11/21	DHIEP Program	
	11/22	文部科学省 課題解決型高度医療人材養成プログラム 講義	12
	11/24	講義のため(教務掛)	
	11/25	講義のため(教務掛)	
	11/26	講義のため(教務掛)	
	11/27	講義のため(教務掛)	
	11/30	講義のため(教務掛)	
12月	12/1	講義のため(教務掛)	
	12/2	講義のため(教務掛)	
	12/3	理学療法学講座 卒業論文発表会	
	12/4	講義のため(教務掛)	
	12/7	講義のため(教務掛)	
	12/8	講義のため(教務掛)	
	12/9	講義のため(教務掛)	
	12/10	講義のため(教務掛)	
	12/11	講義のため(教務掛)	
	12/12	精神科分野勉強会(京都)	45
	12/14	講義のため(教務掛)	
	12/15	講義のため(教務掛)	
	12/16	講義のため(教務掛)	
	12/17	講義のため(教務掛)	
	12/18	講義・試験のため(谷口先生)	
	12/21	講義のため(教務掛)	
	12/21	看護科学コース 卒論発表会	90
	12/22	看護科学コース 卒論発表会	90
	12/23	看護科学コース 卒論発表会	90
	12/24	講義のため(教務掛)	
12/25	講義のため(教務掛)		
12/28	講義のため(教務掛)		

1月	1/4	講義のため（教務掛）	
	1/5	講義のため（教務掛）	
	1/6	講義のため（教務掛）	
	1/7	講義のため（教務掛）	
	1/8	講義のため（教務掛）	
	1/12	講義のため（教務掛）	
	1/13	講義のため（教務掛）	
	1/14	講義のため（教務掛）	
	1/15	講義のため（教務掛）	
	1/18	講義のため（教務掛）	
	1/19	講義のため（教務掛）	
	1/20	講義のため（教務掛）	
	1/21	講義のため（教務掛）	
	1/22	新映社利用（教務掛）	
	1/24	地域公開講座	80
	1/25	講義のため（教務掛）	
	1/26	講義のため（教務掛）	
	1/27	講義のため（総合）	
	1/28	講義のため（総合）	
1/29	講義のため（総合）		
2月	2/1	修士論文発表会（看護）	
	2/3	講義のため（教務掛）	
	2/3	修論発表会準備のため（検査）	
	2/4	修士論文発表会（検査）	
	2/7	オンラインセミナー打ち合わせ	5
	2/8	講義のため（教務掛）	
	2/9	臨床実習オリエンテーション（総合）	26
	2/15	定期清掃	
	2/16	入試(教務掛)	
3月	3/6	科研費公開オンラインセミナー	5
	3/12	定期清掃	

事業名：文部科学省 課題解決型高度医療人材養成プログラム

「発達症への介入による国民的健康課題の解決」

研究代表者：十一 元三

使用スペース：研修室1、研修室2、杉浦ホール

1) 事業の趣旨と目的

近年、不登校・ひきこもり、依存症、うつ、アブセンティズム・プレゼンティズムなどのメンタルヘルスの問題が年齢層を問わず深刻な影響を社会にもたらしている。その大きな背景として自閉スペクトラム症（ASD）をはじめとする発達症（発達障害）が注目されており、国民的健康課題の解決には発達症への介入が不可欠であることが明らかになりつつある。

発達症の場合、従来の精神疾患と異なり、有効な支援や介入を実施する際、医師による診療だけでは不十分であり、看護師・保健師、薬剤師、作業療法士、養護教諭、ケースワーカー、公認心理士など医療に関連する多職種が連携し、日常生活に密着した支援を行うことが不可欠である。本事業では、発達症にかかわるが専門職の受講生を募り、2年間（120時間）の講義および演習を行い、高度なエキスパートへと育成することにより、地域にネットワークを形成し、発達症の子供から成人を対象に適切な支援・介入をコーディネートできる人材の養成を目的とする。

2) 活動実績の概要

令和2年度の主な事業内容としては、前年度（令和1年度）に続き新たな年度の教育プログラム受講生（2期生）を公募した。その結果、6名の募集に対して40名を超える応募があり、本プログラムの認知度および受講希望が高いことが伺われた。多職種からの構成に力点を置いた選考の結果、精神科医（2名）、小児科医（2名）、作業療法士、看護師、教諭、公認心理士、臨床心理士、家庭裁判所調査官からなる10名を選出した。その際、主にベテランの医療関連職から構成された1期生の場合と異なり、若手から中堅のキャリアを持つ人材を中心に選考し、本プログラム終了後には所属機関の臨床現場で主任クラスの立場で指揮をとり、必要に応じて他職種の同期生とネットワーク構築ができるようになることを目指した。2期生に対しても2年間120時間の講義を現在実施中であるが、コロナ禍の影響のため昨年度よりオンライン講義の割合を増やさざるを得なかった。

その他の活動としては、ビデオ教材による遠隔講義を実施し、社会人である受講生の便宜に配慮したほか、本事業のホームページの充実を図り、本事業の取り組みを昨年度以上に積極的に広報した。2021年からプログラムが始まる第3期生については、既に公募を終え、第1期生、第2期生を構成する職種に加え、薬剤師を採用することが決まっており、発達症支援における薬剤師の役割を明確化していく予定である。

3) 本プログラムの課題

本プログラムは現在、文部科学省からの補助金で運営されており、受講生には無償で教育プログラムが提供されているが、上記補助金は令和4年度（2022年度）末で終了となり、その後は自力での運営を求められている。しかし、国民的健康課題の解決を図るといふ本プログラムの公的かつ社会貢献的性質、深刻な心の健康課題の解決を目指すという社会的インパクトおよび重要性を踏まえた場合、受講生を無償で養成する基盤づくりは行政や関係諸機関にとって社会的使命であると思われる。本学でこの人材養成プログラムを実施するための主たるスペースとして引き続き杉浦地域医療研究センターの活用を計画しているが、文科省からの補助金支給期間後の運営（主に人件費）を可能にする財政基盤をいかに確立するかが現在の大きな課題となっている。



京都大学
KYOTO UNIVERSITY